

整理番号 2020M-012

補助事業名 2020年度 効果的なリハビリテーションの実現に向けた
訓練プログラムの評価 補助事業

補助事業者名 一般社団法人 栃木県医師会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的 (<http://www.tochigi-med.or.jp/residents/jka/>)

ウイズコロナの時代に沿った療養環境を整備することでリハビリが必要な患者さんの入院生活を充実したものとする

(2) 実施内容

発熱患者用の診療スペースとしてスポーツリハビリを実施するスペースを臨時的に使用していましたが、仮設検査室を院外に設置することによりリハビリスペースを確保することができたとともに、入院中のリハビリ患者さんと感染が疑われる患者さんの接触リスクを軽減させることができました。また、院内感染が発生した事態に備え入院病棟毎に区分けをしたリハビリを実施しておりますが、各エリアに必要な機器を導入し運用することができました。



仮設検査室の設置



感染対策を実施した上でのリハビリ風景
(理学療法)



感染対策を実施した上でのリハビリ風景
(作業療法)



感染対策を実施した上でのリハビリ風景
(言語療法)

2 予想される事業実施効果

本事業を実施することによってコロナ渦の中でも安全かつ快適にリハビリを受けられる療養環境を整備することができました。その結果、長期間の療養が必要とされるリハビリを必要とする患者さんの入院生活を改善させることができると考えられます。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

http://www.shiobara-hp.jp/doc/11010_2020.html

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

2021年4月1日 塩原温泉病院だより Vol.30

公益財団法人JKAによる補助事業を実施しました

弊本報 既報金は、当院において、公益財団法人JKAの補助を受け院内分室貸付費補助を用いてリハビリテーションの訓練機器を調製し訓練プログラムの妥当性を検証及び改善する事業を2020年度に実施する予定でした。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大により、病院の一部を感染予防感染性が疑われる患者さんの診療に専断する必要がある状況になりました。また、感染対策を徹底して実行していた院内リハビリ棟においてリハビリプログラムに応じて患者さんが稼働する方法から、クラスター防止の導入設備に訓練スペースを分けて稼働してリハビリを実施する方法に変更しました。その結果、作業療法と訓練の制限やリハビリ棟全体のリハビリを提供するなど訓練の効率性低下、行動制限など患者さんに不利益が生じる状況となりました。

そこで、新型コロナウイルスの特性においても簡単かつリハビリテーションが実施できるような事業計画を策定し、新型コロナウイルス感染症発生によるクラスター防止のための仮設作業室やミーティングにより利用可能なリハビリ棟の設置を実施しました。

本事業の実施により感染対策を実施しつつ稼働環境を整備することで新型コロナウイルス感染症発生時のリハビリ提供環境を整うことができることにも患者さんの入院生活を改善させることができました。



仮設作業室

補助事業により導入した機器一覧

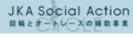
仮設作業室一式、知能検査セット一式、肩下駄、姿勢調整型右足サリス、歩行補助車4台、移動式床すべり台、エアリアル正位足踏車1台、エルゴスター2台、ワットバイク1台、ファンファンタイプライター、ドットマトリックスキーボード、デジタルカメラ1台、録音機器一式、電気誘導用装置VRS1台、誘導車椅子20台、輪転機10台、ロボットスーツHAL1式



仮設作業室



感染対策を実施した上でのリハビリ風景



JKA Social Action
健康とスポーツの補助事業
<https://www.jka-cyok.jp>



KEIRIN JP
<http://keirin.jp>

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人栃木県医師会（イッパンシャダンホウジントチギケンイシカイ）

住所： 〒320-8503

栃木県宇都宮市駒生町3337-1

代表者： 会長 稲野 秀孝（イナノ ヒデタカ）

担当部署： 栃木県医師会塩原温泉病院事務部

（トチギケンイシカイシオバラオンセンビョウインジムブ）

担当者名： 経理課長 山口 国明（ヤマグチ クニアキ）

電話番号： 0287-32-4111

F A X： 0287-32-4226

E-mail： k.yamaguchi@sshp.jp

U R L： <http://www.tochigi-med.or.jp/>